

12 コテングコウモリ

(ヒナコウモリ科)

兵庫県ランク:要調査

Murina ussuriensis

環境省ランク:-

種の概要

全国から見つかっているが西日本からの情報は少ない。樹洞や洞窟、落ち葉の下などから見つかる。200ほどの大きな出産保育コロニーを形成することが知られている。テングコウモリのように鼻孔が外側に向かって筒状に突起しているが、4g～8gと小型であることからこの名がついている。体毛は黄土色から薄褐色で長い毛を持つため毛深く見える。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内では2000年代以降に生息確認された。主に県の北西部で確認されている。但馬地域から繁殖コロニーが発見されている。廃坑やトンネルで見つかることが多いが、県内での生息環境はわかっていない。

写真提供:永井 英司

保護上の留意点

生息状況の把握に努める必要がある。

県内分布

宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、香美町

【執筆者】横山 真弓

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

